

令和5(2023)年3月

## 西中学校の前には花のじゅうたん プランターには花が・・・

—— 地域とともにある学校をめざして ——

### ○花のある学校 ボランティアとともに



今年度は、2回花を植えることができました。7月1日と12月19日です。それぞれの日にボランティアさんは、8名参加して下さいました。花を植えながら生徒どうしの、生徒とボランティアの方との、またボランティアさんどうしの会話がありました。生徒会が主導し、生徒のみなさんが協力する。そこにボランティアさんが関わる。

写真にも見られますように、「自然」なふれあいが、楽しいひとときをかもし出しているようです。和やかで気持ちの良い爽やかな空気を感じました。

作業は1時間ぐらいで終わりました。

地域の方とふれ合うことに意義があります。中学生ですから、「花を植える」ことは簡単にできます。しかし、地域の方と一緒に作業をする機会は少ないのではないのでしょうか。私はもっと多くの地域の方が、自然に参加してほしいと、強く感じました。

## ○地域と学校のパイプは。。。。

「学校運営協議会」は、文字の通り、「学校を運営する組織」です。現在西中学校は、コミュニティスクールになっています。コミュニティスクールとは「地域による地域の学校」という意味です。

ですから、学校運営協議会のメンバーは、校長先生、教頭先生、先生方の代表の方、地域の代表、保護者の代表、そしてコーディネーターの代表でつくられています。

私たちコーディネーターはボランティアさんと学校をつないでいます。

例えば学校から、「今度花植をしますので、ボランティアさんをお願いします」と連絡が来ます。そうすると、私たちコーディネーターは、いろんな所に連絡してボランティアさんを集めます。

このようにして、写真のような生徒のみなさんと先生方、ボランティアさんの姿になるのです。

現在、絵本の読み聞かせ、図書館の整理など、家庭科学習のお手伝い、部活の見回り等を、私たち地域のボランティアさんがやっています。

生徒たちは気づいていますが、地域の方々は、おわかりでない方が多いのではないかと思います。これからは、私たち地域の出番が必要な「時代」なのです。

## ○地域のみなさんが変われば子どもたちは変わる

「登校」「下校」という言葉があります。この意味の訳をお考えになったことはありませんか。文字の通りでは「学校に登る」「学校を下る」となります。私たち地域の者にとっては、学校に登るのですから、行きにくい存在に思えます。学校を下るのですから、下から仰ぎ見る存在に思えます。何かお城をイメージします。「登城」「下城」を思い起こします。「武士の世の中」です。こう考えるのは、おかしいでしょうか。

これからは、多くの地域の方に「学校」に来てほしい。これが私の願いです。

ボランティアさんとして来てほしいのです。連絡を待っています。（文責 東口明史）

### 【西中応援ボランティアさん募集】

「西中応援ボランティアさん」を募集しています。

地域のみなさまとともに楽しく始めませんか。

現在31名の方がボランティアさんとして活動しています。内容は「絵本の読み聞かせ」「家庭科等の実習支援」「図書館の整備等」「環境整備(花植・夏の清掃等)」「部活の見守り」等です。お気軽にお問い合わせください。

連絡先 TEL 64-2285 西中学校 教頭先生まで